

Pi-SAR (L) を用いた硫黄島変化量抽出

Detection of the Ioh-jima deformation using the Pi-SAR (L)

島田 政信 [1]; 宮脇 正典 [2]

Masanobu Shimada[1]; Masanori Miyawaki[2]

[1] なし; [2] N E C 航空宇宙システム

[1] EORC, JAXA; [2] NEC Aerospace Systems

PALSAR の運用が開始されて硫黄島を含む各所の地殻変動を検出してきた。特に硫黄島においては、2006年から2007年に渡っての島全体の変動が明確になってきた。一方、分解能の観点では制約があり、島全体の細かな変動の抽出は困難であった。それに対して、Pi-SAR の L-band SAR は、2007年の初頭までにアンテナのヨー角を航空機の地上軌跡に直角になるように、又、前の軌道との差が5メートル以内になるように積極的な制御を行う改修を終了した。このようなセンサを用いて、2007年6月末と2007年8月中旬に二回硫黄島を観測した。本報告では、Pi-SAR の干渉処理による地殻変動抽出例として、硫黄島、大島の解析例を示す。